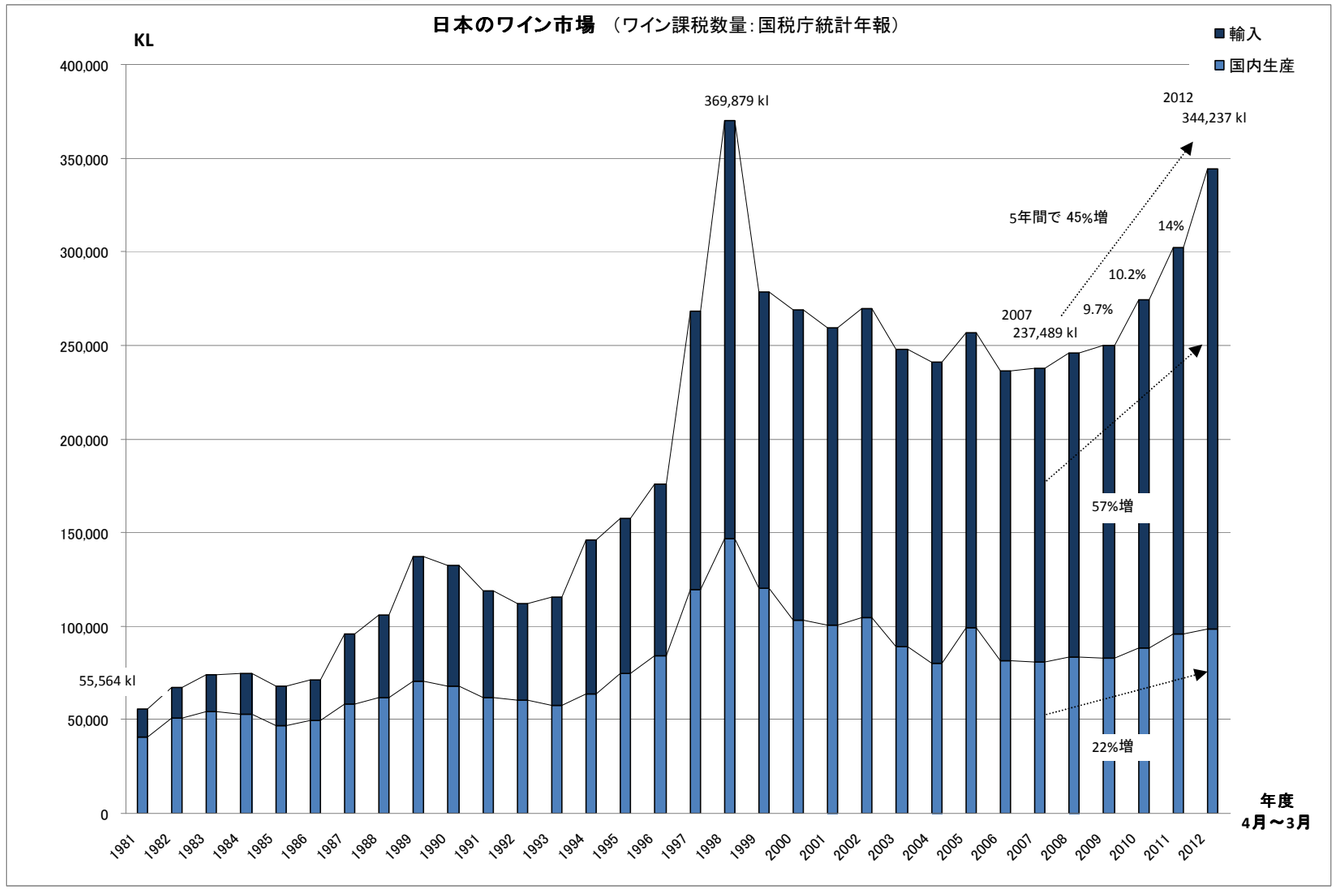
WineResort Yamanashi

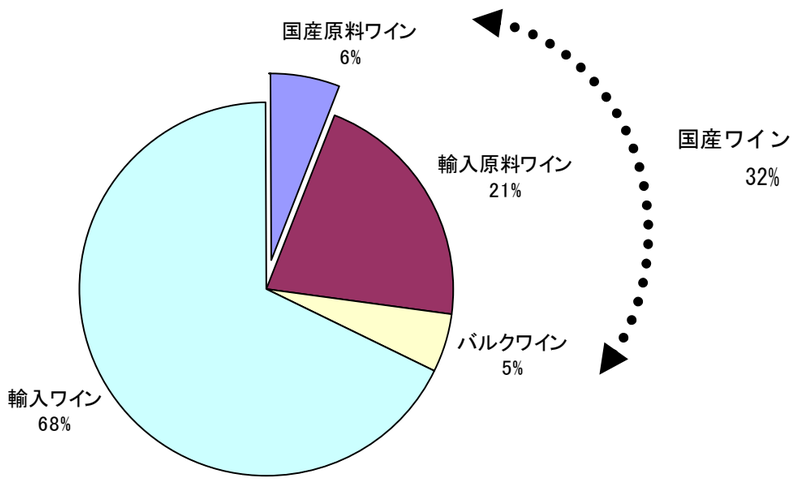
山梨シンポジウム「定着の兆しが見えるワインツーリズム」
〈地域資源を活用したコンテンツ開発と集客〉 H25.12.11

山梨県観光部
観光振興課長　仲田道弘
nakada-rpi@pref.yamanashi.lg.jp

1　日本のワイン市場



2　国産ワインの現状



H23　国税庁「果実酒製造業の概況調査」より推計

3　甲州ワインのマーケット戦略

© 雁屋哲・花咲アキラ・小学館

4　品質向上～欧州進出…

国産ワインコンクール

甲州ワインプロジェクト

ロンドンプロモーション

東京日本橋アンテナショップ

東京日本橋 Y-wine

5　ワインリゾート山梨への道

1983 年	メルシャン甲州シュールリー	「メルシャンだけがいいワインを造っても勝沼はワイン産地にならない」
1988 年	第１回蔵コン開催	「蔵をきれいにしたんで、見に来てもらいたい」
1989 年	垣根式葡萄畑への挑戦	「これでダメならワイン造りをやめてもいい」
1990 年	第１回新酒ワイン祭り	「お客さんが来なかったので、鎧兜を付けて銀座を練り歩いたら…交番で止められた」
1993 年	ワイン用葡萄畑草取りツアー	「会費を払って草取りをしよう」
1997 年	ワイン葡萄畑オーナー制度	「ワインを買うだけでは収まらなくなってきた消費者に対しての、新しいおもてなし」
	第１回蔵めぐりワインツアー	「勝沼 10 社のワイナリーオーナーと直接語り合うツアー」
1999 年	ナパヴァレー視察	「今となってみれば、この視察で試飲の有料化につながった。Hospitality Program 多様化」
2000 年	漫画美味しんぼ	「味噌、醤油、米酢、味の濃い魚に合うワインを始めて発見。和食に合うワイン」7 週連続
2002 年	甲斐 Vin 設立	「山梨ワインのテイスティングネットワーク。あなたが審査員」
2003 年	第１回国産ワインコンクール	「日本で最も影響力のあるコンクールに育った」ワイン産地確立推進会議
2004 年	甲州ワインプロジェクト	「寿司屋で飲めるワインをようやく発見した」
	日本ワインを愛する会設立	「これまで馬鹿にして飲まなかったけど、この 10 年で日本ワインの品質向上は目覚しい」
2005 年	休日はワイナリーに行こう発刊	「以降隔年で発刊。山梨中心から全国へ」
2008 年	ワインツーリズム山梨スタート	「とにかく走りながら考えてスタート」
2010 年	第１回ロンドンプロモーション	「10 年前だったらこのワインは評価されなかった。今こそ世に出るべきワイン」
	甲州を OIV が品種登録	「EU でテーブルワインからの脱却し、クオリティワインとして販売できるようになった」
2011 年	ワインレストラン Y-wine	「山梨ワインのラインナップがあるからできたこと」山梨ワインの PR 拠点
2012 年	石和温泉 BYOwine	「500 円で、持ち込み県産ワインを冷やしてグラスをご用意します」
2013 年	ワインタクシー	「連日盛況！　ワインリゾート山梨への布石」
	国税庁長官産地指定「山梨」	「日本で唯一地理的表示ができるワイン産地になった。輸出ワインに Product of Yamanashi」